

- 問1 環境負荷を減らすための取り組みのうち、プラスチック製のストローの使用を控えることで「廃棄物の発生そのものを抑制する」ことと、使用済みのペットボトルを分別回収して「新たな製品の原料として再利用する」ことを指す用語の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 前者がリサイクル、後者がリユース | 2. 前者がリユース、後者がリデュース | 3. 前者がリデュース、後者がリユース | 4. 前者がリデュース、後者がリサイクル |
|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
- 問2 2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」において、その根幹となる「持続可能な開発」という考え方を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 先進国が高度な経済成長を維持するために、発展途上国の資源利用を制限して地球全体の資源量を保つこと。 | 2. 2030年を目標期限とし、温室効果ガスの排出を伴うあらゆる工業製品の生産を世界規模で停止すること。 | 3. 人間中心の開発を優先し、環境への影響は将来の科学技術の進歩によって解決することを前提に経済発展を加速させること。 | 4. 将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現代の世代の要求も満たしながら、環境保護と開発を両立させること。 |
|--|--|---|---|
- 問3 持続可能な社会の実現に向けた「3R」と呼ばれる取り組みのうち、使用済みの製品や廃棄物を一度資源の状態に戻し、新しい製品の原材料として再利用することを何といいますか。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|---------------|----------|
| 1. リユース | 2. リサイクル | 3. リファーマービッシュ | 4. リデュース |
|---------|----------|---------------|----------|
- 問4 日本における環境関連の法律は、その時代の社会課題に合わせて整備されてきました。高度経済成長期の公害問題、地球規模の環境問題、そして資源循環への関心の高まりという歴史的背景を踏まえた、制定された年代の古い順として正しいものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 循環型社会形成推進基本法 → 公害対策基本法 → 環境基本法 | 2. 公害対策基本法 → 環境基本法 → 循環型社会形成推進基本法 | 3. 公害対策基本法 → 循環型社会形成推進基本法 → 環境基本法 | 4. 環境基本法 → 公害対策基本法 → 循環型社会形成推進基本法 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
- 問5 持続可能な開発目標（SDGs）にも深く関わる、国際的な経済活動におけるフェアトレードの説明として、最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 発展途上国の農産物や製品を、適正な価格で継続的に購入することで生産者の自立を支援する仕組み | 2. 国際労働機関（ILO）が主導し、途上国における児童労働などの人権侵害を監視・排除する法的な活動 | 3. 先進国の優れた生産技術を途上国へ無償で提供し、現地の生産効率を高めて輸出を拡大する取り組み | 4. 非営利組織（NPO）などの民間団体が主体となり、途上国に学校や病院などの社会資本を建設する支援 |
|--|--|--|--|
- 問6 開発途上国の生産者が作った農産物や製品を、労働に見合う公正な価格で継続的に買い取ることにより、生産者の生活向上や経済的な自立を支援する貿易の仕組みを何といいますか。（2024年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|------------|-------------|------------|
| 1. リデュース | 2. フェアトレード | 3. セーフティネット | 4. ダイバーシティ |
|----------|------------|-------------|------------|
- 問7 国連において2015年に特定の基金が創設された際、その理念として「紛争、貧困、感染症、環境破壊などから人々の生活や安全を包括的に守る」という新しい視点が示されました。この取り組みの背景にある考え方の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 軍事力による国境の防衛だけでなく、個人の生存や自由を脅かす広範な課題を解決しようとする考え方 | 2. 将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発を行う考え方 | 3. 国家が他国からの武力攻撃を受けた際、同盟国と協力して反撃を行う権利を強化する考え方 | 4. 先進国が途上国の資源を確保するために、経済的な支援を優先して行う考え方 |
|---|--|--|--|
- 問8 1997年に採択された京都議定書における、温室効果ガスの排出削減の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. すべての国が平等に責任を負うべきという考えから、発展途上国を含むすべての加盟国に対して一律の削減目標が設定された。 | 2. 地球温暖化への歴史的な責任を考慮し、先進国にのみ削減義務が課され、発展途上国には削減目標が設定されなかった。 | 3. 排出量の多い中国やアメリカ合衆国を優先し、この2か国に対してのみ法的拘束力のある削減義務が課された。 | 4. 経済成長を維持するため、すでに排出量が減少していた先進国には努力義務のみが課され、発展途上国に厳しい削減義務が課された。 |
|--|---|---|---|
- 問9 1960年代の高度経済成長期に深刻化した公害問題を受け、公害対策を総合的に推進するために1967年に制定された、日本の環境行政の出発点となる法律は何か、正しい名称を選びなさい。（2019年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|------------|------------|
| 1. 環境庁設置法 | 2. 環境基本法 | 3. 公害対策基本法 | 4. 大気汚染防止法 |
|-----------|----------|------------|------------|
- 問10 開発途上国の農産物取引において、国際価格が下落した場合でも、生産者が不当な搾取を受けずに生活を維持できるよう、あらかじめ設定された最低取引価格を保証する仕組みを何といいますか。その名称と目的の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 政府開発援助（ODA）。政府が資金を提供し、現地のインフラ整備を支援することを目的とする。 | 2. フェアトレード。生産者の自立と労働環境の改善を目的とする。 | 3. 自由貿易。関税を撤廃し、国際的な市場競争を促進することを目的とする。 | 4. 保護貿易。国内の特定の産業を守るために、輸入品に対して高い関税をかけることを目的とする。 |
|--|----------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問11 日本の世界自然遺産登録地において、環境保全と観光を両立させるために実際に行われている工夫の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 屋久島では、観光客の利便性を最優先するため、樹齢の長い縄文杉のすぐ隣まで舗装された道路を建設している。 | 2. 知床では、植生を保護するために観光客の立ち入りを完全に禁止し、一切の観光活動を停止している。 | 3. 白神山地では、地域経済を活性化させるために、ブナの原生林を伐採して大規模なリゾート施設の建設を進めている。 | 4. 小笠原諸島では、外部から持ち込まれる外来種の侵入を防ぐため、靴の裏の泥を落とすためのマットを設置している。 |
|--|---|--|--|
- 問12 日本において、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減させる「循環型社会」の形成が求められている背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. すべての廃棄物を焼却処分することで、最終処分場の不足問題を完全に解消するため | 2. 廃棄物の発生を抑え、限られた資源を効率的に再利用し続ける仕組みを作るため | 3. 環境保護よりも経済効率を優先し、企業の廃棄コストを削減するため | 4. 大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした経済活動を継続するため |
|---|---|------------------------------------|------------------------------------|
- 問13 大量生産・大量消費・大量廃棄といったこれまでの社会のあり方を見直し、製品の廃棄や消費を抑制するとともに、一度使用したものを資源として再利用することで、環境への負荷をできる限り減らすことを目指す社会を何と呼びますか。（2020年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|----------|-------------|
| 1. 格差社会 | 2. 情報化社会 | 3. 循環型社会 | 4. 高度経済成長社会 |
|---------|----------|----------|-------------|